

8月2日 @AK Live 原稿 能城一郎

タイトル： 神の家族なのです

聖書箇所：エペソ人への手紙 2章 19節

【新改訳 2017】

エペソ 2:19 こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。

神の家族でない人々を現わす、ことばが二つあります。 他国人と寄留者二つです。

シェクスピアの時代の英語の聖書、KJVでは、「strangers and foreigners」となっています。

【KJV】 Eph 2:19 Now therefore ye are no more strangers and foreigners, but fellowcitizens with the saints, and of the household of God;

他国人 (stranger) は、「異国人」(口語訳)、「外国人」(新共同訳)、「よそ者」(聖書協会 共同訳)とも翻訳されます。寄留者 (foreigner) で、翻訳は、日本語の聖書では、統一されているようです。しかし、米国の新改訳と言われる NIV の翻訳では、「foreigners and aliens」(ストレンジャーズ アンド エイリアンズ) となっています。

【NIV】 Eph 2:19 Consequently, you are no longer foreigners and aliens, but fellow citizens with God's people and members of God's household,

もはや、こうなると、原語を調べる必要があります。

他国人は、「クセノス」で、新約聖書で 14 回登場します。14 回のある単語なので、他国人、異国人、外国人、よそ者、stranger、foreigner・・・と、意味の範囲が広がります。14 箇所をすべて紹介することは時間がかかりすぎるので、「クセノス」の意味を織田昭の辞書で調べると、目に鱗の記事がありました。

下線を施した、箇所に注目してください。

ξένος, -η, -ον ①異国の, 外国の, よその, 旅先 (外国) にいる。②見慣れない, 聞きなれない,

今まで知らなかった、初めての、珍しい。③ [属格また奪格と] ~から疎外された、~に不案内の、~に無縁の。④ [名] (a) 外国人, 外国に滞在する人, 旅先 (見知らぬ土地) にいる人; 住んではいるが市民権や保護される特権のない者, (b) 客, 客人; 1964年版のギリシャ・ユースホテル協会のパンフレットに「不案内な旅人 (STRANGER) と歓迎される客人 (GUEST) とを古くから同一の単語で表わす国語はギリシャ語だけである」とある, (c)(転じて, = ξενοδοχῶν, ξενόδοχος) 客を迎えて親切を尽くす人, 主人, 家主。

本来ならば、日本人の「おもてなし」をこの夏は、世界中にするはずでしたが、残念です。「よそ者」、「見慣れない人」、「STRANGER」を、分け隔てなく親切を尽くすのは、日本人だけでなく、世界中のいつの時代にもそのような真の隣人愛を持った人はいるのだなあと考えさせられました。

次の「寄留者」、N I V (New International Version 1978) では、「エイリアン」と翻訳されるので、英語の語源辞典を調べました。すると、「エイリアン」は、語源がラテン語で、1953年に英語圏では、サイエンス・フィクションの場で、「地球外からの存在者」という感覚で使われるようになったことです。映画の「エイリアン」をTVで観たのですが、かなり衝撃的なシーンが多かったのを覚えています。

### alien (n.)

"foreigner, citizen of a foreign land," early 14c., from **alien** (adj.) or from noun use of the adjective in French and Latin. In the science fiction sense "being from another planet," from 1953.

「寄留者」、「Strenger」、「Alien」は、ギリシャ語では、「パルオイコイ」で、新約聖書では、4回登場します。ギリシャ語で、「家」(ハウス)は、「オイ-コス」と言います。

エペソ書 2章 19節のほかの箇所の「パルオイコイ」の箇所を次に紹介します。

#### 【新改訳 2017】

Act 7:6 また、神は次のように言われました。『彼の子孫は他国の地で寄留者 (パルオイコイ) となり、四百年の間、奴隷となって苦しめられる。』

Act 7:29 このことばを聞いたモーセは逃げて、ミディアンの地で寄留者 (パルオイコイ) となり、そこで男の子を二人もうけました。

1Pe 2:11 愛する者たち、私は勧めます。あなたがたは旅人、寄留者 (パルオイコイ)

なので、たましいに戦いを挑む肉の欲を避けなさい。

この箇所を見ると、「もはや他国人でも寄留者でもなく」は、神の家族に加わる前の不安と隣り合わせの生活、あるいは、住む家もなし、よそ者扱いされる、・・・といった悲しい状況を物語っていることが分かります。

エペソ 2:19 こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。

神の家族に加わると、「不安」から解放されるのです。ヨハネ 第3の手紙に、人間が抱く三つの要素が書かれています。2 節の最後の方からみると「健康」、「すべての点=衣食住」、「たましい」となります。

### Ⅲヨハ

1:2 愛する者よ。あなたのたましいが幸いを得ているように、あなたがすべての点で幸いを得、また健康であるように祈ります。

東京は、このところ毎日、感染者数の最高記録を更新しています。聖書は、「健康」であることの大切さを教えています。免疫力を失わないための3つの条件は、「食事」「運動」「睡眠」です。

また、聖書は「衣食住」、言い換えるならば、「経済」が適度に満たされることに無関心ではありません。「この状況下で大変な生活を強いられている方々に神様の癒しと慰めと、平安が豊かに与えられるよう」と祈禱課題に書かれていました。

「健康」、「衣食住」にも恵まれた壮健で人生の成功者であっても「たましい」が幸いを得ないと、神の目から見た本当の幸いな人とは言えない事は確かです。

最後に、ヨハネの手紙第3の1章を読みつつ解説をしてこのメッセージを閉じる事にします。

### 新改訳 2017 Ⅲヨハ

1:1 長老から、愛するガイオへ。私はあなたを本当に愛しています。

1:2 愛する者よ。あなたのたましいが幸いを得ているように、あなたがすべての点で幸いを得、また健康であるように祈ります。

1:3 兄弟たちがやって来ては、あなたが真理に歩んでいることを証ししてくれるので、私は大いに喜んでいます。実際、あなたは真理のうちに歩んでいます。

1:4 私にとって、自分の子どもたちが真理のうちに歩んでいることを聞くこと以上の大きな喜びはありません。

1:5 **愛する者よ**。あなたは、兄弟たちのための、それもよそから来た人たちのための働きを忠実に行っています。

1:6 彼らは教会の集まりで、あなたの愛について証しました。あなたが彼らを、神にふさわしい仕方で送り出してくれるなら、それは立派な行いです。

1:7 彼らは御名のために、異邦人からは何も受けずに出て行ったのです。

1:8 私たちはこのような人々を受け入れるべきです。そうすれば、私たちは真理のために働く同労者となれます。

1:9 私は教会に少しばかり書き送りましたが、彼らの中でかしらになりたがっているディオテレペスが、私たちを受け入れません。(注：ゼウスに養われた)

1:10 ですから、私が行ったなら、彼のしている行為を指摘するつもりです。彼は意地悪なことばで私たちをののしっています。それでも満足せず、兄弟たちを受け入れないばかりか、受け入れたいと思う人たちの邪魔をし、教会から追い出しています。

1:11 愛する者よ。悪を見習わないで、善を見習いなさい。善を行う者は神から出た者であり、悪を行う者は神を見たことがない者です。

1:12 デメテリオについては、すべての人たちが、また真理そのものが証しています。私たちも証します。私たちの証しが真実であることは、あなたも知っています。

1:13 あなたに書き送るべきことがたくさんありますが、墨と筆で書きたくありません。

1:14 近いうちにあなたに会いたいと思います。そうしたら、直接話し合しましょう。

1:15 平安があなたにありますように。友人たちが、あなたによろしくと言っています。そちらの友人たち一人ひとりによろしく伝えてください。

お祈りします。